

形成外科の対象となる疾患

【 できもの(皮膚皮下腫瘍) 】

疾患：粉瘤、脂肪腫、色素性母斑 等

症状：身体に“できもの”が出来た。
邪魔なので治療してほしい。
“できもの”が、悪いもの
ではないか心配である。



治療方法：“できもの”を除去します。
必要があれば病理検査にて悪いものか診断します。

* 皮膚腫瘍・皮下腫瘍と呼ばれる“できもの”の患者さんは非常に多く、原因不明であることがほとんどで、**誰にでもできるリスクがある**と言えます。
放置すると大きくなったり、膿んでしまったり、悪性化することもあるため、気が付いた際には、ぜひ受診してください。

診察日

毎月 第 1・3・5 木曜日

午前 9 時～12 時 30 分

担当医

信州大学医学部附属病院

形成外科 細見 謙登 医師

上記の疾患の他にも「きずあと」「爪の疾患」「床ずれ」「眼瞼下垂症」「带状疱疹」「うおのめ・たこ」「手指の関節痛」なども診察することが出来ます。

気になる症状がありましたら、お気軽に外来看護師、事務員にご相談ください。